

令和6年度補助事業の概要 (公益社団法人 西部海難防止協会)

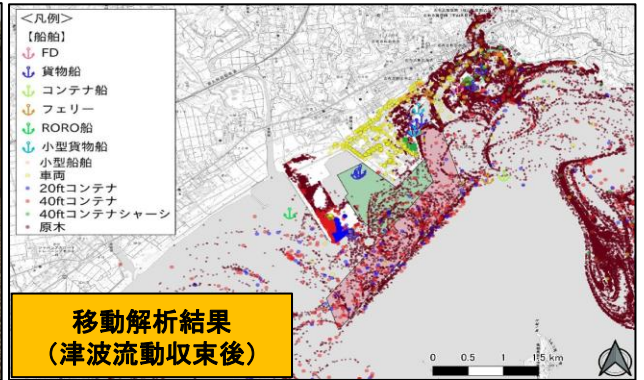
1. 船舶航行安全に関する調査研究事業

志布志港における地震津波による港内漂流物の移動解析と航行船舶に及ぼす影響に関する調査研究

九州で唯一の中核国際港湾である志布志港において南海トラフ巨大地震による津波が発生した場合、コンテナなどの港内漂流物がどのように漂流するか移動解析を行い、その結果から航行船舶に及ぼす影響について把握し、船舶がとるべき対応や、航行の再開にあたって必要となる事項を取りまとめ、航行船舶の安全や地元港湾関係者による災害対策の検討に寄与した。



第1回委員会



2. 海難防止に関する運動の推進、周知、啓発及び教育指導事業

① 「海難防止強調運動推進連絡会議」

全国海難防止強調運動における運動方針を受け、西日本、南九州及び沖縄地区の推進連絡会議を開催した。



② 海難防止啓発活動

海難防止を啓発するポスター及び関連するグッズを作成し、啓発活動を支援し、海事思想の普及を図り、海難防止活動を推進した。





③ 西海防セミナー

海事関係者及び一般市民への海への理解を深めるため、海難防止、海上交通の安全に係る事項をはじめ海に係る様々なテーマによる「西海防セミナー」を開催しており、6年度は「出光ベッティングサービスとSIRE検船システム」及び「脱インフラ老化 ～良いものを造り、みんなで守る～」をテーマに取り上げたセミナーを北九州市と福岡市で開催した。



④ 会報の発行

海難防止に関する啓発活動のため、当協会が取り組んでいる各種活動及び海難防止に役立つ情報を掲載した会報を発行した。

